

関西創生戦略の進捗状況等について

1 平成 29 年度の進捗状況について

- ・重要業績評価指標（KPI）を設定している施策 30 施策
- ・重要業績評価指標（KPI）を設定していない施策 11 施策

(1) 重要業績評価指標（KPI）を設定している施策の自己評価（詳細は別表 1 のとおり）

基本的方向	担当事務局	施策の評価				
		A	B	C	D	合計
日本の元気を先導する関西経済を創造	イノベーション推進担当	1				1
	エネルギー検討会	1				1
	広域産業振興局	3		1		4
	広域産業振興局（農林水産部）	5				5
「アジアの文化観光首都」の創造	広域観光・文化・スポーツ振興局(広域観光・文化)	6		1		7
	広域観光・文化・スポーツ振興局(スポーツ部)	1		2		3
防災・医療の充実による「安全・安心圏域」の創造	広域医療局	2		1		3
「環境先進地域」の創造（持続可能な社会の実現）	エネルギー検討会	1*				1
	広域環境保全局	4		1		5
合計		24	0	6	0	30

(注) ※は基本的方向「日本の元気を先導する関西経済を創造」（エネルギー検討会）の施策の再掲

A：目標達成	B：目標のうち一部達成（複数の取組・指標を設定している場合）
C：期間内での目標達成には至らず、目標実現に向けた取組を次年度以降に継続	D：目標未達成

上記のうち、評価がCの施策の内訳とその理由

基本的方向	施策名	C評価の理由
日本の元気を先導する関西経済を創造	グリーン・イノベーション分野の振興(広域産業振興局)	企業とのマッチングフォーラムの参加者数について、水素分野に限定したテーマが3年続いたこと等もあり、目標人数を達成することができなかった。
「アジアの文化観光首都」の創造	ジオパーク活動の推進(広域観光・文化)	ジオパーク拠点施設への入込客数について、8つあるジオパーク拠点施設のうち、1施設で行われたリニューアル工事の影響を見込むことができず、目標人数を達成することができなかった。
	「生涯スポーツ先進地域関西」の実現(スポーツ部)	関西シニアマスターズ大会の参加規模について、台風の影響で急遽参加を取りやめた選手がいたため、全構成府県市からの参加を達成することができなかった。
	「スポーツの聖地関西」の実現(スポーツ部)	障害者スポーツアスリート育成練習会の参加規模について、世界選手権がメキシコ中部地震により延期となり、本練習会と開催時期が重なったため、全構成府県市からの参加を達成することができなかった。
防災・医療の充実による「安全・安心圏域」の創造	災害医療体制の強化(広域医療局)	災害医療コーディネーター合同研修会の参加者数について、「病院避難」をテーマとした研修は初めてであり、研修内容の作り込みや講師との入念な打ち合わせ等準備期間が必要だったことから、年度末の繁忙期の開催となり、また、受講者募集期間を十分に確保できなかったため、目標人数を到達することができなかった。
「環境先進地域」の創造（持続可能な社会の実現）	再生可能エネルギーの導入促進(広域環境保全局)	人材育成に関わるセミナー等の参加者数について、構成府県市とともに周知に努めたが、平成 29 年度からの新たな取組であり、広く府県市民に対する認知度を高めることができなかったため、目標人数を達成することができなかった。

(2) 重要業績評価指標（KPI）を設定していない施策の取組内容（詳細は別表 2 のとおり）

政府機関等の関西への移転の推進など、定量的な評価が困難なためKPIを設定していない11施策については、それぞれの目的を実現するための取組を着実に推進した。

2 平成 30 年度の重要業績評価指標（K P I）の目標設定等について

（1）取組内容の変更及び重要業績評価指標（K P I）を見直すもの

基本的方向 日本元気先導する関西経済を創造

施策名 関西健康・医療創生会議によるイノベーション創出・推進の検討

(H29 年度)	
取組内容	
<p>○ 「関西健康・医療創生会議」において、関西広域の共通課題として取り組むべきテーマごとに分科会を設置し、シンポジウム、産学官連携事業に関する研究会を実施する。研究開発や実証研究の企画・調整を推進する。</p> <p><テーマ内容例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大規模な健康・診療データを共同でクラウド化して集約し、診療や予防医療の研究、創薬・健康等のビジネスに役立てる仕組みの構築、府県域を超えた遠隔医療等の推進 ・ 病理診断の省力化、迅速化、情報の共有化を図るため、ICTを活用した医療機関ネットワークの形成、病理診断技術の確立とデータベースの構築 ・ AI（人工知能）技術等を活用した画像解析、診断の推進 ・ 医学の知識をまちづくりに活かす「MBT（医学を基礎とするまちづくり）」を推進し、少子高齢社会を解決するモデルを構築 ・ 軽度認知機能障害（MCI）の診断に基づいた認知症の進行を抑える早期介入、生活支援のための広域的な仕組みづくり ・ 広域的な大学間連携による未来の医療～精密医療～を担う人材、地域医療・産業を支える人材の育成 	
重要業績評価指標（K P I）	
項目	目標
広域の産学官連携によるイノベーション推進（研究開発）プロジェクトの立案と資金獲得に向けた提案数	2分野（分科会）でのプロジェクト（計2プロジェクト以上）提案
	
(H30 年度)	
取組内容	
<p>○ 「関西健康・医療創生会議」において、平成 27 年度から平成 29 年度までは、関西広域の共通課題として取り組むべきテーマごとに分科会を設置し、シンポジウム、産学官連携事業に関する研究会を実施するなど、研究開発や実証研究の企画・調整を推進した。</p> <p>○ 平成 30 年度からは、分科会等の取組を踏まえ、産業界や大学と連携を図り、健康・医療データを活用できる関西全体の環境整備に重点を置いた取組を推進する。</p> <p><具体的な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康・医療データの収集・連携・利活用の理解促進のための、産業界や自治体関係者を対象とするセミナーの開催（年 1 回、50 名程度） ・ 健康・医療データの収集・連携・利活用に関する能力向上を図る、専門人材の育成を目指した、産業界や自治体関係者を対象とする研修会の開催（年 1 回、50 名程度） 	
重要業績評価指標（K P I）	
項目	目標
健康・医療データの収集・連携・利活用の推進にかかるセミナー等参加者数	年 100 人以上

【見直しの理由】 平成 30 年度からは、健康・医療分野において関西が世界を先導できる新産業を創出していくため、競争力の源泉となる健康・医療関連のビッグデータを活用できる関西全体の環境整備に重点化し、健康・医療データの収集・連携・利活用の推進や人材育成に注力していく。

(2) 平成 29 年度の実績等を踏まえ、重要業績評価指標 (K P I) の目標の数値を見直すもの

基本的方向 「アジアの文化観光首都」の創造

施策名	重要業績評価指標 (K P I)		見直しの理由
	項目	目標	
ジオパーク活動の推進	ジオパーク拠点施設への入込客数	(29 年度) 年 48 万人以上  (30 年度) 年 38 万人以上	8 つあるジオパーク拠点施設の内 1 施設でリニューアル工事を実施しているため、下方修正 (H29 実績 : 371,852 人)
無料 Wi-Fi 環境整備の推進	「KANSAI Wi-Fi (Official)」アプリのダウンロード数	(29 年度) *50,000 件(内、外国人 25,000 件)  (30 年度) *100,000 件(内、外国人 50,000 件)	H29 実績が 64,611 件(内、外国人 25,456 件)であるため、上方修正

※目標数値は平成 28 年度からの累計

基本的方向 「環境先進地域」の創造 (持続可能な社会の実現)

施策名	重要業績評価指標 (K P I)		見直しの理由
	項目	目標	
地域特性を活かした交流型環境学習の推進	環境学習船「うみのこ」を活用した交流型環境学習の参加者数	(29 年度) 年 180 人以上  (30 年度) 年 90 人以上	新船建造の遅れ等により、実施回数を減らすことによる下方修正

(3) 上記の他、大会の名称が確定したことによる「仮称」の削除、年度表記の更新等、所要の修正を行うもの

<別表1>重要業績評価指標(KPI)を設定している施策(計30施策)

【日本の元気を先導する関西経済を創造】

No.	施策名	重要業績評価指標 (KPI)			評価
		項目	目標	実績	
1	関西のライフサイエンス産業のポテンシャル発信	「メディカル ジャパン」におけるブース来場者数	年3,300人以上	年3,434人	A
2	グリーン・イノベーション分野の振興	企業とのマッチングフォーラムの参加者数	年200人以上	年186人	C
3	水素社会の実現に向けた取組の推進	関西圏における水素関連産業への参入事業者数	平成31年度までに累計20事業者以上	平成31年度に向け、関西圏における水素関連の取組の現状や将来の水素利活用の可能性について、網羅的に把握し、それらを水素ポテンシャルマップとしてまとめることで、水素社会の実現に向けた取組を計画どおり進めている。	A
4	スモールビジネスモデル共有センター	スモールビジネスの優良事例の収集・発信件数	年5件以上	年5件	A
5	関西ブランドのプロモーション	国内プロモーションにおけるブース来場者数	年2,600人以上	年2,662人	A
6	地産地消運動の推進による域内消費拡大	「おいしい！KANSAI応援企業」の登録数	平成31年度までに累計100施設	累計89施設 (H28年度から21施設増加)	A
7	食文化の発信・農林水産物の販路拡大	輸出促進セミナーの参加者数	年100人以上	年200人	A
8	6次産業化や農商工連携推進などによる競争力の強化	府県市の異業種交流会等の広報協力	情報提供件数の拡大	過去3年平均以上となる5件の情報提供を実施	A
9	農林水産業を担う人材の育成・確保	「関西広域連合農林漁業就業ガイド」の情報発信	圏域内の情報を一体的に発信	就業ガイド及び林業・水産業の就業ガイドを完成させ、あわせて「農林水産就業促進サイト」を開設し、情報を発信	A
10	都市との交流による農山漁村の活性化と多面的機能の保全	都市農村交流サイトを活用した優良事例の掲載件数	平成31年度までに累計30事例	ホームページを開設し、延べ23事例を収集・掲載	A
11	関西健康・医療創生会議によるイノベーション創出・推進の検討	広域の産学官連携によるイノベーション推進(研究開発)プロジェクトの立案と資金獲得に向けた提案数	平成31年度までに2分野(分科会)でのプロジェクト(計2プロジェクト以上)提案	1プロジェクト提案 (日本医療研究開発機構(AMED)採択の「病理画像集積によるAI補助病理診断支援システムの開発に対する基盤整備に関する研究」)	A

【「アジアの文化観光首都」の創造】

No.	施策名	重要業績評価指標 (KPI)			評価
		項目	目標	実績	
1	地域の魅力を活かす関西周遊環境整備事業の推進	関西の訪日外国人旅行者数 ※平成27年 約790万人	平成31年に年1,600万人	年1,222万人 (平成28年から約200万人増加)	A
2	広域観光周遊ルート「美の伝説」等誘客促進事業の推進	「美の伝説」ルート等旅行商品造成数(旅行者等による旅行商品造成数)	年3本	年5本	A
3	海外観光プロモーションの推進	関西を紹介する海外トッププロモーションにおけるセミナー等への参加者数(構成府県市単独プロモーションでの紹介を含む)	年1,000人以上	年約1,200人	A
4	広域連携DMO「関西観光本部」の体制確立・機能強化	官民連携による海外旅行博への合同出展におけるブース来場者数	年3万人以上	年12万人	A
5	ジオパーク活動の推進	ジオパーク拠点施設への入込客数	年48万人以上	年38万人	C
6	無料Wi-Fi環境整備の推進	「KANSAI Free Wi-Fi(Official)」アプリのダウンロード数 ※平成29年3月1日時点 累計約24,600件(内、外国人累計約4,300件)	累計50,000件 (内、外国人累計25,000件)	累計64,611件 (内、外国人累計25,456件)	A
7	東京オリンピック・パラリンピック等の開催に向けた関西文化の魅力発信	関西の芸術文化情報サイト年間アクセス数	年120万ページビュー	年122万ページビュー	A
8	「生涯スポーツ先進地域関西」の実現	「関西シニアマスターズ大会(仮称)」の参加規模	全構成府県市からの選手参加	10構成府県市から参加	C
9	「スポーツの聖地関西」の実現	障害者スポーツアスリート育成練習会の参加規模	全構成府県市からの参加	4構成府県市から参加	C
10	「スポーツツーリズム先進地域関西」の実現	関西のスポーツイベント・スポーツツーリズム情報等の紹介リーフレット、HPによる国内外への情報発信	圏域内のスポーツ関連情報・観光情報等の一体的発信	リーフレット配布及び12月にホームページを作成し、公開	A

【防災・医療の充実による「安全・安心圏域」の創造】

No.	施策名	重要業績評価指標 (KPI)			評価
		項目	目標	実績	
1	ドクターヘリによる広域救急医療体制の充実	広域訓練へ参加するドクターヘリ機数	年2機以上	年5機	A
2	災害医療体制の強化	災害医療コーディネーター合同研修会の参加者数	年50人以上	年37人	C
3		広域災害時のドクターヘリ運航に係る要領を策定する基地病院数	累計5基地病院以上	累計6基地病院	A

【「環境先進地域」の創造(持続可能な社会の実現)】

No.	施策名	重要業績評価指標 (KPI)			評価
		項目	目標	実績	
1	幼児期環境学習の推進	自然体験型保育の研修会(広域でモデル実施)の参加者数	年80人以上	年138人	A
2	地域特性を活かした交流型環境学習の推進	環境学習船「うみのこ」を活用した交流型環境学習の参加者数	年180人以上	年218人	A
3	関西地域カワウ広域管理計画の推進	専門家派遣によりカワウ対策の体制を整備した被害地域数	年1箇所以上	年3箇所	A
4	ニホンジカ等の広域的な鳥獣対策の推進	人材育成に関わる講座等の参加者数	年30人以上	年40人	A
5	再生可能エネルギーの導入促進	人材育成に関わるセミナー等の参加者数	年100人以上	年58人	C
6	水素社会の実現に向けた取組の推進(再掲)	関西圏における水素関連産業への参入事業者数	平成31年度までに累計20事業者以上	平成31年度に向け、関西圏における水素関連の取組の現状や将来の水素利活用の可能性について、網羅的に把握し、それらを水素ポテンシャルマップとしてまとめることで、水素社会の実現に向けた取組を計画どおり進めている。	A

<別表2>重要業績評価指標(KPI)を設定していない施策(計11施策)

【国土の双眼構造を先導する取組の推進】

No.	施策名	取組内容
1	政府機関等の関西への移転を推進	・平成30年度国の予算編成等に対する提案により、国に対して要望を実施 ・研究機関・研修機関等については、地域の拠点となる組織が設置され、また、プロジェクト等の推進が進行中であり、それらの情報を構成府県市間で共有することで、政府機関等との連携を強化
2	関西での首都機能のバックアップ	平成30年度国の予算編成等に対する提案により、国に対して要望を実施
3	防災庁(仮称)の設置に向けた提案等	シンポジウムの開催に加え、各種イベントにおけるパネル展示なども実施
4	2025国際博覧会の誘致支援	「誘致対策会議」を設置し、誘致委員会及び関西観光本部とともに様々な対策を検討し、海外での誘致プロモーション活動や国内での誘致機運を醸成
5	リニア中央新幹線及び北陸新幹線の大阪までの早期開業等	【北陸新幹線】 ・北陸新幹線建設促進同盟会等とともに与党等に対して要請活動を実施 ・関西初の取組として北陸新幹線(敦賀・大阪間)建設促進に係る決起大会を開催するとともに、与党等に対して要請活動を実施 【リニア中央新幹線】 ・平成30年度国の予算編成等に対する提案により、国に対して要望を実施 【四国、山陰新幹線ほか】 ・北陸新幹線の早期開業をはじめ、基本計画路線である四国、山陰新幹線の整備計画への格上げについて、平成30年度国の予算編成等に対する提案により、国に対して要望を実施
6	関西の主要港湾の広域的な連携・関空のアクセス改善	【港湾連携】 ・各主要港湾の機能強化の観点から、主要港湾の状況を情報共有し、連携施策を検討 【関空アクセス】 ・関西国際空港への高速アクセス鉄道の確保について、平成30年度国の予算編成等に対する提案により、国に対して要望を実施
7	天然ガスパイプラインの整備に向けた取組の推進	平成30年度国の予算編成等に対する提案により、国に対して要望を実施

【日本の元気を先導する関西経済を創造】

No.	施策名	取組内容
1	医薬品医療機器総合機構(PMDA) 関西支部の更なる機能拡充	国への要望活動を実施
2	女性の活躍する場の拡大に向けた取組の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・第81回連合委員会で女性活躍推進に係る取組について報告 ・広域連合構成府県市の女性活躍推進担当者等による連絡会議を開催 ・「女性活躍推進会議(仮称)」の設置に係る第86回連合委員会での協議に向け、第2回担当者連絡会議を開催 ・「関西女性活躍推進フォーラム」を立ち上げ、第1回会議(全体会及び企画委員会)を開催 ・第2回及び第3回企画委員会を開催し、フォーラムの取組について検討

【防災・医療の充実による「安全・安心圏域」の創造】

No.	施策名	取組内容
1	防災庁(仮称)の設置に向けた提案等(再掲)	シンポジウムの開催に加え、各種イベントにおけるパネル展示なども実施
2	周産期医療広域連携体制の充実	近畿ブロック周産期医療広域連携検討会を開催し、広域連携の取組状況、ドクターヘリの運用、災害時の体制整備等について情報共有を実施